

第3種郵便物認可

不撓不屈

ふとうふくつ

人材育成に着手

地中熱活用システム「ヒートクラスター」を展開するアグリクラスター（さいたま市中央区）が創業して8年が経過した。ヒートクラスターは消費税抜きの価格が150万円からという低コストと、井戸水活用方式による熱源の高効率利用というメリットを生かし、累計200件以上の導入実績を築いた。

ただ、社長の福宮健司

アグリクラスター ④

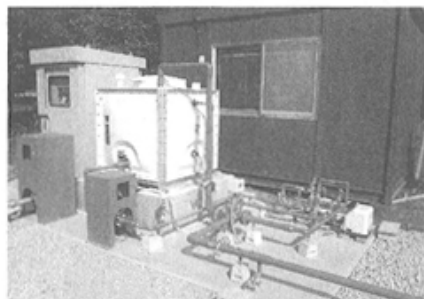
五輪特需追わず

は現状に満足していない代住宅産業プロジェクト」に参画。このプロジェクトは2008年8月の創業当初は5年後に売上高5億円を目指したもので、16年7月期も届かない。事業に対する熱意だけが先行し、事業拡大に伴う人材育成が追いついてこなかったと福宮は分析する。人材の採用と育成を進めて「20年までに売上高数十億円を目指したい」と語る。

システム主導

自治体との連携では、埼玉県の先端産業創造プロジェクトの一つである地中熱を活用した「次世代

寒冷地で実績、海洋エネ視野



地中熱の地域的活用システムの開発で使用している実証実験装置

地中熱の地域的活用システムの開発で使用している実証実験装置

冬の暖房コストが高い北海道で攻勢をかけている。また地下水が豊富で冬の外気温が低い北陸3県や、福島県郡山市にある日本大学工学部などと連携して東北地域を中心に売り込む。

計画やスマート住宅での活用を想定し、地域全体で地中熱を共同利用できるシステム構築に寄与したい」と福宮。地中熱を五輪・パラリンピックに地域で共同活用する技術

を開発し、コスト削減や新産業創出などさまざまな効果の検証を進める。一方で2020年東京

求めて全国で新規開拓を続ける。従来から事業案件が多い関東に加え、パ

北海道・東北開拓

（この項おわり。さいたま・山越晃が担当しました）

（敬称略）